

1. 令和4年度決算について

7月6日に開催されたキッコーマン健康保険組合会で令和4年度決算が承認されました。

●一般勘定

令和4年度の当期収支は、約299百万円の黒字でした。

黒字ではありましたが、前年度と比べると黒字幅が約260百万円縮小しています。主な支出のうち、保険給付費(医療費補助など)は、過去最高額の約895百万円(前年比109%)に達しました。

高額療養費、新型コロナ医療費、産婦人科関連医療費などが増えた結果です。

また、納付金は、約747百万円(前年比429%)と大きく増えました。

その要因は、前期高齢者納付金の支出が増えたためですが、

当健保の前期高齢者(65歳~74歳)の1人あたり医療費が276,000円/人と、全国平均の7割以下の水準を維持できているお陰で、

前期高齢者納付金は3億円程度と低く収まっている状況です。

今後は、いつ支出額が更に大きく増えるかが予断を許さない状況です。

健全な財政運営の為、健保の取り組み活動への皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(百万円)			
		予算差	前期差
当期収入	2,095	32	18
当期支出	1,796	52	278
当期収支	299	-20	-260

●介護勘定

令和4年度当期収支は約25百万円の黒字でした。

令和4年度は料率を1.7%⇒1.9%に引き上げました。

料率引上げの影響により、黒字化することができました。

(百万円)			
		予算差	前期差
当期収入	284	3	32
当期支出	259	-0	4
当期収支	25	3	29

以上